

# 石川県

## 顔の見える関係づくりと退院支援の強化

石川県では、精神障害者の在宅での生活を支援するため、各地域ごとの精神科病院と訪問看護、介護・福祉サービス事業所等との連携体制を構築し、入院初期から退院に向けた調整や退院後の訪問支援の強化に取り組んでいます。

1 県又は政令市の基礎情報

石川県

取組内容

【人材育成の取り組み】

- ・H19～H23 精神障害者地域移行研修
- ・H23～相談支援従事者地域移行研修
- ・H24～ピアサポーター養成研修
- ・H27～精神障害者地域療養支援事業  
リーダー研修、実地研修

【精神障害者の地域移行の取り組み】

OH19～精神障害者地域生活支援事業  
長期在院者の地域移行の推進

- ・H19～H23 地域移行推進員配置
- ・地域体制整備コーディネーター配置
- ・H24～ピアサポーターの養成、配置

OH27～精神障害者地域療養支援事業

在宅生活支援のため、各地域ごとの精神科病院と  
訪問看護、介護・福祉サービス事業所等との  
連携体制を構築

- ・リーダー研修、訪問支援の実地研修
- ・圏域ごとの連絡会
- ・精神科病院での症例検討会



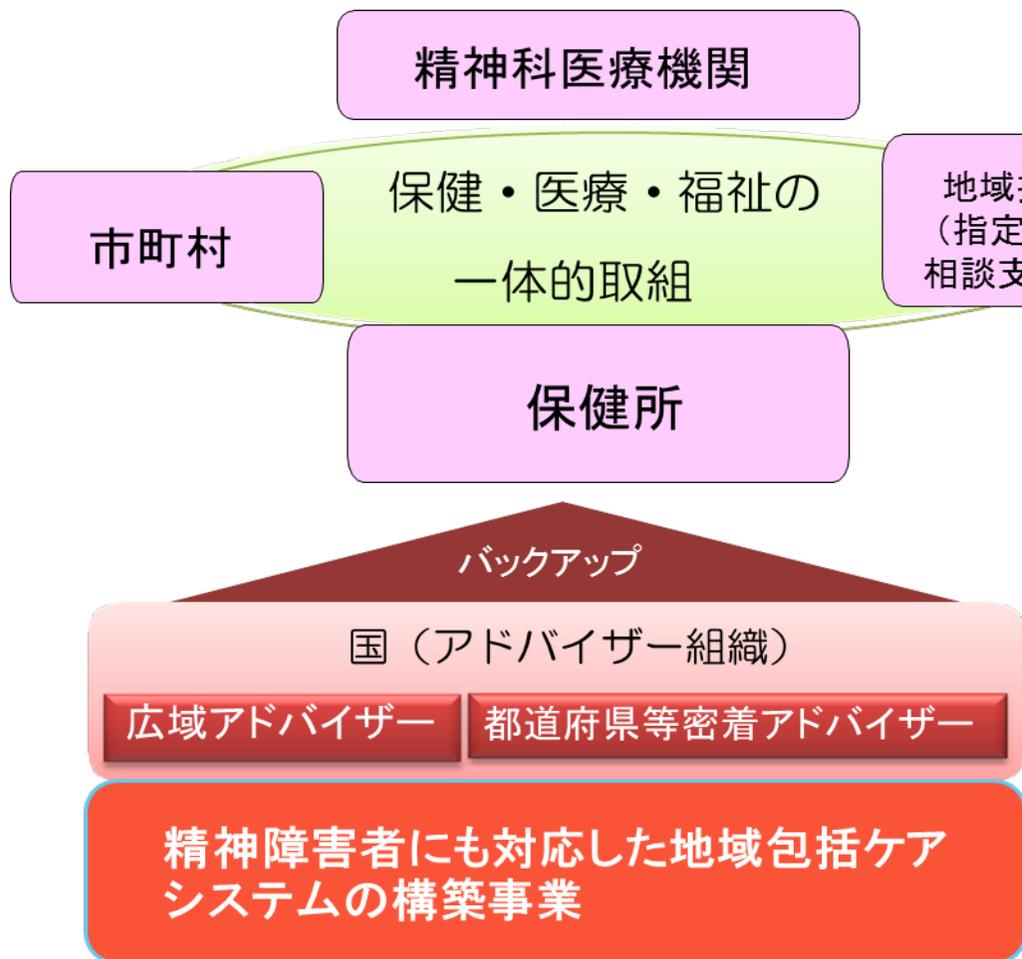
基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（H30年4月時点）	4	か所		
市町村数（H30年4月時点）	19	市町村		
人口（H30年4月時点）	1,142,603	人		
精神科病院の数（H30年4月時点）	21	病院		
精神科病床数（H29年6月時点）	3,749	床		
入院精神障害者数 （H29年6月時点）	合計	3,258	人	
	3か月未満（％：構成割合）	693	人	
		21.3	％	
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	515	人	
		15.8	％	
	1年以上（％：構成割合）	1,921	人	
	59.0	％		
	うち65歳未満	684	人	
	うち65歳以上	1,237	人	
退院率（H28年6月時点）	入院後3か月時点	60.8	％	
	入院後6か月時点	82.1	％	
	入院後1年時点	90.4	％	
相談支援事業所数 （H30年4月時点）	基幹相談支援センター数	1	か所	
	一般相談支援事業所数	59	か所	
	特定相談支援事業所数	101	か所	
保健所数（H30年4月時点）	5	か所		
（自立支援）協議会の開催頻度（H29年度）	（自立支援）協議会	2	回/年	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（H32年度設置目標状況）	都道府県	有・無	1	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	4 / 4	か所/障害圏域数
	市町村	有・無	19 / 19	か所/市町村数

	3ヶ月未満入院者数		3か月以上1年未満入院者数		1年以上入院者数		政策効果による地域移行数（目標値）		合計	
平成27年6月末	689	人	511	人	2,142	人		人	3,342	人
平成28年6月末	685	人	570	人	2,083	人		人	3,338	人
平成29年6月末	693	人	515	人	1,921	人		人	3,129	人
平成32年度末		人		人		人	370	人		人
平成36年度末		人		人		人		人		人

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築



### 事業内容

- (1) 地域体制コーディネーターの配置  
長期入院者に地域移行の働きかけや 支援者の助言を行う
- (2) 地域生活支援連携会議  
関係機関の連携強化、支援体制の検討等
- (3) ピアサポートの養成、配置

### アドバイザー役割

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にかかる事業に実施に取り組む地域に対し、担当者と連携し、関係者等の研修及び個別相談等の技術的支援を行う。

#### ① 広域アドバイザー

- ・国が選任
- ・県担当者、県密着アドバイザーに具体的にアドバイス

#### ② 都道府県密着アドバイザー

- ・県の推薦を受け、国が選任
- ・行政、医療、福祉分野から1名程度
- ・実践するなかで抱える課題等に対する相談、支援を行う

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

- 精神障害者地域生活支援事業（H19～）  
実施主体：石川県  
H19～H23 地域移行推進員の配置  
H22～ 地域体制整備コーディネーターの配置  
H24～ ピアサポーター養成・派遣
- 精神障害者地域療養支援事業（H27～）  
実施主体：石川県 精神科病院協会に委託  
リーダー研修、実地研修、圏域ごとの連絡会、症例検討会
- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業（H29～）  
実施主体：石川県  
石川県地域生活支援連携会議、地域連携会議

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

## 【特徴(強み)】

各圏域での連絡会等の取組によって、各地域の精神科病院、障害福祉事業所、行政等が顔の見える関係を作り、地域課題を共有し、連携して退院支援を行っている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
		行政側	調査実施し分析
長期入院患者の実態が掴めない	各精神科病院に長期入院者の実態調査を実施する。	医療側	調査回答
		事業者側	
		関係機関・住民等	
長期入院患者の方が地域生活でのイメージがつきにくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院に対して地域移行支援について説明</li> <li>・病院や関係機関と連携し、長期入院患者に対して説明</li> </ul>	行政側	長期入院患者に対して説明
		医療側	病院内での周知
		事業者側	長期入院患者に対して説明
		関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値	目標値(H30)
①未定	未定	未定	未定
②			
③			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成30年度の取組スケジュール

### 平成30年度の到達目標

1. 地域移行支援における関係機関の役割を具体的に明確化し共有する
2. 地域移行の進め方と圏域における連携体制を構築し、実践していく

時期 (月)	実施する項目	実施する内容	該当する 目標番号
H30年 6月～ H31年 2月	協議の場づくり 現地支援	圏域ごとの連絡会(各圏域で年数回実施) ・企画の段階から参加し、地域移行支援における各関係機関の役割を具体的にし、共有できるようにする。	1と2
H30年 9月	現地支援	広域アドバイザーによる現地支援 ・各圏域の状況報告 ・各圏域の評価・助言 ・意見交換	1と2
H30年 10月～ 11月	協議の場づくり 現地支援	地域生活支援連携会議 ・今年度の各圏域における成果及び課題を明確化し、 ・次年度の方向性を検討する	1と2

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた指標の推移と目標値

NO	指標	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 32年度	平成 36年度
①	1年以上の精神科病院在院患者数(人) (各年6月30日現在)	2,117	2,083	1,921	1,688	—
②	各年度 地域移行支援利用者数(人)(H30. 2 末時点)	86	83	112	—	X
③	②のうち、退院した者の数(実人数)(人)	—	—	—	—	
④	ピアサポーターの養成者数(実人数)(人)	13	18	21	—	
⑤	④のうち、活動している者の数(実人数)(人)	7	6	10	—	
⑥	地域移行を促す基盤整備	X	X	X	370	
⑦	治療抵抗性統合失調症治療薬の普及				370	—
⑧	認知症施策の推進				370	—

目標値

## 【記入上の留意点】

- ③について ※利用年度の翌年度以降に退院した者については、利用年度に計上して下さい。  
※退院後に再入院となった者については、退院した者(1人)として計上して下さい。
- ⑤について ※養成年度以降に、実際の活動を開始した者については、養成年度へ計上して下さい。
- ⑥⑦⑧について ※障害福祉計画上に明記した地域移行者数(地域移行に伴う基盤整備量(利用者数))を踏まえ、記載して下さい。  
※⑥・⑦・⑧のそれぞれの値を分けて記載できない場合は、⑥+⑦+⑧の合計値を記載して下さい。